

— 第7回晶析操作の基礎と実践 —

晶析による結晶品質の改善 — 物性評価からモデル化まで —

主催 分離技術会
協賛 化学工学会関東支部、化学工学会材料界面部会晶析技術分科会、
日本プロセス化学会、日本粉体工業技術協会晶析分科会 ※協賛は予定を含めません

医薬品のみならず、機能性材料、電池材料など結晶性物質を取り扱う分野は多岐にわたっており、そこでは結晶性粒子群の品質評価技術や、高度な品質制御技術が要求されてきています。晶析は結晶粒子群を製造するとともに、分離精製を行うことを目的とした非平衡分離操作です。ただし、晶析操作を用いて結晶品質を維持・制御するためには、対象となる結晶粒子群の品質を正しく評価し、晶析現象に基づいてその品質を改善するための手法を見いだす必要があります。この講演会では「結晶物性評価」から「晶析プロセス改善」そして「制御法」「モデル化」まで、実例を挙げながら最新情報とともに解説します。結晶品質の作り込みに必要な技術を模索している研究技術者の方が対象です。

■日時：2013年1月25日(金) 9:30～17:20

■場所：東京農工大学小金井キャンパス
11号館 5F 多目的会議室
案内図：<http://www.tuat.ac.jp/access/tra5.html>
(案内図 11番の建物)

■講演：

- 9:30— 9:50 「晶析国際会議から見た結晶品質の分析技術と制御技術の動向」
晶析国際会議の発表動向から見た晶析の最新事情
(東京農工大学工学研究院 滝山 博志 氏)
 - 9:50— 10:50 「結晶多形の熱力学的安定性評価と操作法設計」
結晶多形の安定性を評価するための手法と解析法の紹介
(エーザイ(株) 南園 拓真 氏)
 - 10:50— 11:50 「結晶多形を含む医薬品の製剤設計」
結晶多形や表面化学修飾による製剤特性の改善法
(武蔵野大学薬学研究所 大塚 誠 氏)
- 昼休憩 —
- 13:00— 14:00 「医薬品晶析におけるプロセス設計と理解手法」
結晶多形、晶癖変化、粒度変化を把握するためのプロセス理解方法
(塩野義製薬(株) 高木 陽平 氏)

結晶物性を正しく評価したい

晶析プロセスを改善したい

制御法やモデル化を取得したい

5. 14:00-15:00 「晶析操作による高純度精製技術」
晶析操作を用いた結晶粒子群の高純度化技術

((株)クレハ 大田原健太郎 氏)

— 休憩 —

6. 15:20-16:20 「インラインセンサーを用いた晶析プロセスの最適化」
インラインセンサーを利用した結晶粒子群品質の制御技術

(メトラー・トレド(株) 高井 浩希 氏)

7. 16:20-17:20 「晶析プロセスのモデリングと最適化技術」
晶析プロセス最適化ツール gCRYSTAL を使った結晶品質制御

(ピーエスイー・ジャパン 柏屋 滋 氏)

※ 講演会終了後、講師を交えた農工大生協にて名刺交換会があります。是非ご参加ください。

■参加費：

会員・共催・協賛団体会員：18,000 円，学生：6,000 円，会員外：28,000 円，同時入会：23,000 円
(学生を除き、参加費には書籍「新版工業晶析操作」が含まれます。書籍の必要のない方は 4,000 円引きです)

※参加費は前納にて郵便振替または下記銀行にお振込みくださいますようお願い申し上げます。

郵便振替：00100-9-21052 口座名分離技術会

みずほ銀行：神田支店普通預金 1010899 口座名分離技術会

■申込先：参加ご希望の方は申込用紙にご記入のうえ、下記事務局まで FAXにてお申込ください。

e-mail でお申し込みの場合は以下の必要事項を入力の上「第7回晶析操作の基礎と実践参加申込み」と題し送信してください。

第7回「晶析操作の基礎と実践」参加申込書

フリガナ 氏 名			
勤務先			
部署/所属			
所在地	〒		
	TEL	FAX	
	e-mail		
送金方法	郵便振替・銀行振込	請求書	要・不要
会員資格	(正・維持・特別)会員・共催協賛会員・学生会員・同時入会・会員外		

FAX: 044-935-2571

〒214-0034 川崎市多摩区三田1-12-5-135 分離技術会事務局

TEL: 044-935-2578

e-mail: jim@sspej.gr.jp

http://www.sspej.gr.jp/